

### 教育フォーラムの開催

子どもに身につけさせたい食習慣

平成28年10月8日(土)に、あきる野市立小中学校PTA連合会とあきる野市教育委員会の共催で「教育フォーラム」を開催し、保護者や地域の方々等、多くの方に御参加いただきました。

今回は、管理栄養士の河谷彰子氏を講師に迎え、「子どもに身につけさせたい食習慣」選ぶ力を身に付ける」というテーマで講演いただきました。

子どもをとりまく食環境は多様化し、食べたいものを簡単に手にできる状況下にあります。その結果、偏った食生活によって幼少期から成長期における生活習慣病の発症や精神的に不安定な状況に陥るケースも報告されています。

講師の河谷氏からは、管理栄養士としての視点から、様々なアスリートへの栄養アドバイスを行ってきた経験に基づき、「成長期の子どもたちに提供すべき食事とはどの様なものか」、「将来子どもたちが良い食習慣を送ることができるよう『食事を選ぶ力』の身に付けさせ方等」について講演いただきました。

また、「食習慣」は、親から子に受け継がれていくものであり、

大人が「食」を大切にしていることが、子どもに良い食習慣を身につけさせることにつながることも学びました。

### あきる野市・栗原市

中学生友好親善交流会  
今年度は栗原市で開催



市内見学、生徒会、部活など、たくさんの体験や交流活動をしました！

8月3日(水)から5日(金)までの3日間、あきる野市と宮城県栗原市の中学生による友好親善交流会を行いました。

この交流会は、「五日市憲法草案」起草者の千葉卓三郎の生誕地が宮城県栗原市(旧志波姫町)であることがきっかけで、平成元年から始まり、平成20年の岩手・宮城内陸地震、平成23年の東日本大震災による2回の中止以外は、毎年開催し友好を深

めています。

今年度は、あきる野市の生徒代表31名を含む41名の訪問団が栗原市を訪問しました。

交流会は、生徒会交流、部活動交流、千葉卓三郎ゆかりの地の見学、郷土料理の調理体験等を行いました。

生徒会交流では、あきる野市6校、栗原市8校の各生徒会代表が集まり、学校及び生徒会活動の紹介や、グループごとに「地域に愛される学校づくり」「先輩、後輩の理想の関係をつくるには?」「あきる野市・栗原市のさらなる交流のために私たちができること」といったテーマで討論し、発表しました。交流した情報や討論して得られた考えは、今後の学校生活、生徒会活動に生かしていける内容でした。

部活動交流では、あきる野市は東中学校と五日市中学校、栗原市は築館中学校の卓球部が参加し、対戦しました。大変暑い中でしたが、とても白熱した好ゲームが繰り広げられ、スポーツを通じて交流を深めることができました。

3日間の交流会を通じて、それぞれの生徒が、日常の学校生活では味わえない経験をすることができました。今後、あきる野市と栗原市の友好親善の輪がより広がっていくことが期待されます。

### 新教育委員が決まりました よろしくお願ひします



小西フミ子氏

平成20年10月28日から2期8年間教育委員としてご尽力いた

いただきました山城清邦委員が平成28年10月27日付けで任期満了のため、退任しました。

後任として、小西フミ子氏が教育委員に就任しました。任期は平成28年10月28日から平成32年10月27日までの4年間です。

小西氏は、あきる野市社会福祉協議会評議員、あきる野市障害者団体連絡協議会会長などを歴任され、現在もあきる野市知的障害者相談員として活動するなど、福祉の分野で幅広く活躍されております。

### 第21回あきる野市 子どもすもう大会



手に汗握る熱戦が繰り広げられました！

7月23日(土)秋川体育館において、市内の小学校1年生から6年生まで、491(団体戦も含む)名が参加し、各校とも日頃の練習の成果を発揮し盛大に大会が開催されました。子どもたちは、学校関係者・PTA・スポーツ推進委員等の指導により、大会に向けて、作法や実践練習等の鍛錬を重ね大会に臨みます。

大会当日は団体戦から開始し、各校とも手に汗握る展開が繰り広げられ、昨年度優勝した一の谷小学校が見事連覇を果たしました。女子が男子を豪快に投げ勝利を飾る試合もあり、会場は大歓声に包まれました。